

12月定例議会総括

12月定例議会は12月7日から12月20日までの14日間開催されました。

1日目、2日目と7名の議員が一般質問を行い、防災、土砂災害、学校再編、歴史遺産、可燃ごみ委託、新病院、黒船祭等、多岐にわたり諸問題について、市の方針や考えを質しました。来年の黒船祭については、岩手県、山田町から町民100人を招待し、県との共催を得て大々的にPRを行い、盛大に開催する計画であることが明かされました。議会は20日に最終本会議を開き、本年度の各会計補正予算、旧澤村邸条例の制定、暴力団排除条例の制定等、また議会改革特別委員会を設置するとして議員発議を原案通り可決いたしました。

議員に関する請願については、不採択としました。一般会計補正予算では、高齢者世帯に対するふじのくに安心地域支え合い体制

づくり事業に869万円、生活保護扶助費4844万円、東日本大震災に伴う災害対策資金利子補給補助金735万円、9月21日の災害対策に1351万円等を計上し、全体では歳入歳出6652万円を追加補正し、予算総額93億8636万6千円となりました。



委員長 土屋雄二
副委員長 竹内清二
委員 伊藤英雄 大黒孝行
田坂富代 森 温繁
大川敏雄

本委員会に付託された議案・議第50号「下田市暴力団排除条例の制定について」提案理由は、暴力団から市の行う事業や青少年への関わりを排除し、安全な市民生活と健全な社会経済の発展に寄与するためです。

委員会審査では、夏の白浜海岸や黒船祭の八幡神社

と吉佐美のビックシャワーなどの管理は、市役所の市民課を中心に各担当課が対応します。アパートの管理人は、暴力団には貸さない、暴力団らしき人は警察に連絡をして、警察が対応します。市民と事業者と市で暴力団を排除して行こうということです。

議第51号「下田市の市長選挙記号式投票に関する条例を廃止する条例の制定について」下田市長選挙の投票方法については、当日投票は記号式により、点字投票、期日前投票及び不在者投票は自書式投票と規定しておりますが、本条例を廃止することにより全て自書式投票となるものです。

議第52号「用品調達基金の設置・管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定について」提案理由は、「用品調達基金」を廃止するため。

委員会審査では、廃止の理由は、条例制定時の目的は完了したと思われるためです。

議第53号「下田市付属機

関設置条例の一部を改正する条例の制定について」提案理由は、下田市新庁舎等建設基本構想及び基本計画の策定に関し、市長に答申する事務を行うため、付属機関を新たに追加するものです。

平成24年3月末までに基本構想を策定できるよう、作業を進めておりますが、建設場所選定が遅れた場合、スケジュールが変更されることもあります。

議第54号「下田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」提案理由は、スポーツ基本法施行に伴う所要の改正及び補導員報酬の見直しに伴う所要の改正を行うものです。

議題55号「下田市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について」雇用促進税制及び環境関連投資促進税制の創設並びに認定特定非営利活動法人等に寄附をした場合の所得税の税額控除制度の創設を行うものです。

議第56号「下田市総合福祉会館の設置及び管理に関する条例及び下田市高齢者生きがいプラザ条例の一部を改正する条例の制定について」提案理由は、障害者基本法の一部を改正する法律が平成23年8月5日に公布されたためです。

議第57号「下田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」提案理由は、災害弔慰金の支給に関する法律の一部を改正する法律が平成23年7月29日公布・施行され、これに伴い支給対象となる遺族の範囲に、他の遺族がいずれも存しない場合における死亡した者の死亡当時その者と同居し、又は、生計を同じくしていた兄弟姉妹が追加されました。

議第63号「下田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について」提案理由は、障害者自立支援法が改正されたことによる、所要の改正を行うためです。

議題64号「平成23年度下

これを採択した結果が諸問題の解決と真の市民の利益には到底結びつかないことの見解が多数を占め、今回の請願は不採択多数となりました。

結びに、参考人から賜りながらも、残念ながら請願文に未記載であった議員に対する貴重なご意見に対しては、今回の請願を襟を正す機会として真摯に受け止め猛省すると共に、市民の代表者たる議員としての資質向上や、活動の透視化推進は今後もより一層努めるべきであり、14名各々が、より一層民意の収集に努め市政執行に確りとその声を



総務文教常任委員会参考人質疑

反映できるよう導いていくこと、より情報発信の強化に努めること、議員としての責務と権利に對峙し、その向上と、議会運営の改革を今後より一層進めることをお約束し、請願に対する議会からの回答と致したいと存じます。

その活動内容に対する苦言やご意見については、大きく傾くお考えであり、これが民意の表れであることは、われわれ議員もこの問題に對峙すべきではあります。残念ながら前述の請願文章の論拠についてのご意見は少なく感じられました。

続いて各委員からこの請願文章の詳細に関する質疑及び意見が述べられました。議会開催時以外での議員活動に要する経費や実働時間の実態。厳しい財政状況において議員報酬のほか、議会費用の3割が既に退いた元議員への年金支給に当てられているものの、今回の請願がその受給者から提出されている矛盾点が指摘されました。

また、請願文に記載されている定数における他自治体との比較については、更に詳細な資料により調査した結果、全国で同等人口の自治体と比較した場合、定数14がむしろ少ない結果でありました。(別表①参照)同じく報酬についても、現在の報酬額(議員月額29万

別表① 人口類似の他自治体における議員数一覧		
自治体名	人口(人)	議員定数(人)
北海道留萌市	25,005	16
北海道紋別市	24,880	18
北海道富良野市	24,292	18
岩手県陸前高田市	24,261	20
石川県羽咋市	23,906	15
長野県飯山市	24,343	16
和歌山県御坊市	25,878	14
高知県須崎市	24,896	16
長崎県松浦市	25,744	19
大分県竹田市	25,492	22
大分県筑後高田市	24,274	22
鹿児島県枕崎市	24,131	18

別表② 静岡県市議会議員定数・報酬等一覧			
	議員数(人)	H23度末人口(人)	議員報酬(円)
静岡市	50	715,637	663,000
浜松市	52	792,173	648,000
沼津市	32	206,631	493,000
熱海市	18	39,828	390,000
三島市	22	111,773	410,000
富士宮市	23	134,083	421,000
伊東市	20	73,631	351,000
島田市	23	101,756	370,000
富士市	37	256,316	530,000
磐田市	28	166,456	430,000
焼津市	21	143,442	401,800
掛川市	24	115,361	411,000
藤枝市	21	143,428	410,000
御殿場市	21	87,553	380,000
袋井市	21	83,398	357,000
下田市	14	24,883	290,000
裾野市	21	53,395	315,000
湖西市	24	58,931	345,000
伊豆市	20	34,820	260,000
御前崎市	16	34,540	300,000
菊川市	17	45,302	300,000
伊豆の国市	21	49,805	300,000
牧之原市	17	49,071	270,000